

Making Tea, Making Japan

— 茶道と日本文化を考える —

11月1日 **木** 13:30~15:30

参加費
無料

京都大学 国際科学イノベーション棟 5F 会議室a・b

第1部

クリステン・スーラック博士講演会

13:30~14:30

第2部

クリステン・スーラック博士、芥川賞作家 松村栄子氏、
竹内里欧准教授によるパネル・ディスカッション

14:30~15:30

モデレーター：安藤幸講師（京都大学大学院教育学研究科）



講演者・パネリスト プロフィール



クリステン・スーラック
(Kristin SURAK, PhD)
社会学博士。ロンドン大学東
洋アフリカ研究学院准教授。
著書『Making Tea, Making
Japan: Cultural Nationalism in
Practice』(2013年)により、
2014年のアメリカ社会学会ア
ジア部門出版賞を受賞。2018
年4月には、同書の邦訳
『MTMJ—日本らしさと茶道』
(廣田吉崇監訳/井上治・
黒河星子訳、さいはて社)が
出版された。裏千家流茶道を学
び、宗清の茶号をもつ。



松村 栄子(まつむら・えいこ)
小説家。京都市在住。1990年『僕はかぐ
や姫』により海燕新人文学賞を、1992年
『至高聖所(アバトーン)』により芥川賞を
受賞。他に著書として『紫の砂漠』、『京
都で読む徒然草』、趣味である茶道に関
して、小説『雨にもまげず粗茶一服』、『
風にもまげず粗茶一服』、『花のお江戸
で粗茶一服』の三部作などがある。



竹内 里欧(たけうち・りお)
京都大学大学院教育学研究科准教授。
博士(文学)。専門は文化社会学、教育
社会学。主要業績は、『『真の紳士』と『
似非紳士』—『西洋』と『日本』の構築』、『
社会学評論』、『The East and the Idea of
Europe』(共著 Cambridge Scholars
Publishing) など。

アクセスMAP



- 対象：教職員・研究者・院生・学生および一般
- 使用言語：日本語
- 申し込み：必要 定員 50名様
下記QRコード、または <http://bit.ly/2NnT7Kk> から申し込みください。
- 締切：平成30年10月24日(水)17時
- 問い合わせ：グローバル教育展開オフィス
Email： globalevent@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
- 協力：さいはて社

